

ガイダンス

1. 実験の予定

10月05日（水）	海外出張のため休講
10月12日（水）	第1回目 ガイダンス・班分け
10月19日（水）	第2回目 音環境の測定（その1・説明）
10月26日（水）	第3回目 音環境の測定（その2・測定の実施）
11月02日（水）	第4回目 音環境の測定（その3・補足説明）
11月09日（水）	第5回目 光環境の測定（その1・説明）
11月16日（水）	第6回目 光環境の測定（その2・測定の実施）
11月23日（木）	祝日
11月30日（水）	第7回目 光環境の測定（その3・補足説明）
12月07日（水）	第8回目 空気環境の測定（その1・説明）
12月14日（水）	第9回目 空気環境の測定（その2・測定の実施）
12月21日（水）	第10回目 空気環境の測定（その3・補足説明）
01月11日（水）	第11回目 熱環境の測定（その1・説明）
01月18日（水）	第12回目 熱環境の測定（その2・測定の実施）

音環境：道路交通騒音の測定，室内騒音の測定など

光環境：照度の測定，輝度の測定など

熱環境：温湿度の測定，壁の表面温度の測定，グローブ温度の測定など

空気環境：風速の測定，空気汚染の測定など

原則として3週間で一つの項目の実験を行います。ただし，最後の項目の「熱環境の測定」では，時間の関係上（その3・補足説明）を実施しない予定です。

一つの項目ごとに実験レポートを作成してください。レポートの締め切りは，原則として，（その3・補足説明）を行った週の金曜日までとします。例えば，「音環境の測定」の場合は，11月

04日（金）が締め切りとなります。その後、レポートを採点（4段階程度）し、次の項目の（その1・説明）で返却し、講評する予定です。

レポートの作成の際には、（その3・補足説明）を行う水曜日から締め切りの金曜日の3日間の時間があると考えずに、（その2・測定の実施）を行う水曜日から翌週の金曜日までの10日間の時間をかけると考えてください。したがって、（その3・補足説明）の実施までには、ある程度までレポートの作成が進んでいることが要求されます。

上記の予定は、皆さんと相談したり、検討したりした結果、変更になることも考えられますので、欠席した際になどには、十分注意してください。変更がある場合は、できるだけ速やかに掲示するようにします。

実験に使用する部屋は、原則として設備システム実験室（環境共生学部棟旧棟（生活科学部棟）の実験実習棟2階）です。

実験は、いくつかの班に分かれて行います。無断での欠席は、他の班員に人に迷惑をかけることになるので、やむを得ず欠席する場合は、他の班員もしくは担当者などに事前に連絡してください。また、他の班員に迷惑がかかることから、履修を途中で放棄することは原則として認めません。

2. 教科書

- 1) 環境工学教科書研究会編著「環境工学教科書 第二版」（彰国社, 3,675円, 「環境設備原論」（2年生・後期配当）教科書）
- 2) 日本建築学会編「建築環境工学実験用教材 I 環境測定演習編」（日本建築学会, 1,890円）

新しい項目に入る前には、上記の教科書や2年生の際に配布した配付資料を見直し、復習をしてから臨んでください。例年、授業中の説明だけでは充分理解できないとの声があります。しかし、この実験は、2年生・後期配当の「環境設備原論」の内容を理解していることを、ある程度前提として進めています。「環境設備原論」の内容が理解できていない人は、今一度勉強し直してください。なお、「環境設備原論」を履修していない人は、担当者まで相談してください。

3. 参考図書

- 1) 建築設備学教科書研究会編著「建築設備学教科書 新訂版」（彰国社, 3,675円, 「環境設備

システム学」（3年生・前期配当）教科書）

2) 日本建築学会編「建築環境工学実験用教材 II 建築設備計測演習編」（日本建築学会, 1,470円）

また、その他の参考文献は、毎回配布する予定の資料の最後に載せるなどして、適宜紹介します。レポート作成の際などに参考にしてください。

4. 成績の評価

- 1) 成績は出席点とレポートを総合して、評価します。実験ですので、当然ですが、定期試験はありません。
- 2) 出席点が約5～6割、レポートが約4～5割として評価します。
- 3) レポートの提出が一つでも不足している場合は、原則として60点未満の評価とします。

5. 配付資料

講義で配布する資料などは、できるだけ毎回下記のホームページにアップロードしておくので、必要な人や欠席した人は、各自でダウンロードしてください。

<http://www.pu-kumamoto.ac.jp/~m-tsuji/kougi.html/jikkenn.html/kyojikkenn.html>

6. 担当者（レポートの提出先）

質問・レポートの提出先は、以下の担当者まで。

助教授・辻原 万規彦

部屋：環境共生学部旧棟（旧生活科学部棟）4階西南角

電話：096-383-2929（内線492）

e-mail：m-tsuji@pu-kumamoto.ac.jp

助手・岡本 孝美

部屋：環境共生学部旧棟（旧生活科学部棟）4階南側中央付近

電話：096-383-2929（内線482）

e-mail：okamoto@pu-kumamoto.ac.jp

なお、質問は、以下の TA でも可。ただし、レポートの提出は不可。

環境共生学研究科 2 年・安浪夕佳（環境共生学部旧棟（旧生活科学部棟）3 階中村研究室）

7. その他の注意

- ・担当教員に対して生理的嫌悪感などを覚える場合には、その旨を申し出てください。担当教員自身の努力で改善されるような内容であれば、極力改善するよう努めます。しかし、この実験は、出席し、実験に参加することが前提の授業ですので、できれば我慢して出席するようにしてください。
- ・授業時間以外で、担当者に質問をする際には、できるかぎり事前に連絡してください。担当教員のオフィスアワーは木曜日 5 時限（16:10～17:40）ですが、この時間帯といえども緊急の会議などの用事が入る可能性もあります。事前に連絡があり、調整ができれば確実に時間が取れますが、事前に連絡がない場合は、やむを得ず対応できない可能性もあります。
- ・担当教員はできるかぎり標準語で話すように努めていますが、これまでの習慣上どうしても関西弁で話してしまうこともあります。しかし、漫才師などではありませんので、面白い話はありません。
- ・この実験は、その日の進み具合によっては、時間を大きく延長することもあります。この点に充分注意し、その後の予定を組んでください。
- ・授業などの説明の際には、できるかぎり具体的な事例を交えて説明するように心がけていますが、これが雑談に聞こえる場合、もしくは本当に単なる雑談の場合で、それ以上聞きたくないと思われる場合は遠慮なく指摘してください。速やかにやめ、次の説明に移るようにします。